

政策シート 政策名 09 知の拠点としての図書館機能の拡大

予算費目名 01 図書館費

1 基本情報

(1) 総合計画体系

分野 06 文化・生涯学習

理想の姿 (30年後)	◆創造都市を実現し、音楽の都として世界から注目されている。
政策の柱 (10年後)	◆音楽などの芸術をきっかけとして新たな文化や産業が創出されている。 ◆多様な歴史・文化による豊かさやスポーツによる喜びを市民が実感している。

基本政策 01 感動のある生活、歴史・文化・スポーツによる豊かさの創造

(2) 政策の概要(当年度(令和3年度)実施内容)

図書館サービスの一層の向上と、地域に根ざした情報拠点の創出を目指し、「いかす」「はぐくむ」「つながる」「つくる」をキーワードに、多様なニーズに応える資料の収集と誰もが利用しやすい図書館づくりを進める。

(3) 関連するSDGsのゴール

④教育									
-----	--	--	--	--	--	--	--	--	--

2 政策コストの状況(千円)

	R1	R2	R3	R4	R5	R6
予算	1,114,772	1,173,933	1,396,678			
決算	1,103,778	1,162,998				
人件費(報酬等)(A)	145	131	158			
人件費(人工分)(B)	358,670	330,670	320,800			
年間経費(予算又は決算+A+B)	1,462,593	1,493,799	1,717,636			

3 政策指標の状況

政策指標	単位	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
市民1人当たりの貸出冊・点数	冊・点	目標		5.7	5.7	5.8	5.8	5.9
		実績	5.7	5.1				
利用者カード有効登録率	%	目標		21	21	22	22	23
		実績	21.2	20.5				
利用に関するアンケート調査における満足度「図書館の総合評価としてはいかがですか」	点	目標		4.3	4.3	4.4	4.4	4.5
		実績	4.2	4.3				

4 前年度(令和2年度)政策評価

(1) 前年度(令和2年度)実施内容

図書館サービスの一層の向上と、地域に根ざした情報拠点の創出を目指し、「いかす」「はぐくむ」「つながる」「つくる」をキーワードに、多様なニーズに応える資料の収集と誰もが利用しやすい図書館づくりを進める。

(2) 政策評価(政策の進捗及び課題)

<進捗>	計画通り
<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため臨時休館したが、4,099,535冊の資料貸出があった。 図書館ビジョン実現のために、中央図書館のマネジメント強化に向けた窓口業務直営化及び民間活力の更なる活用に向けた城北図書館の指定管理者制度導入を実施した。 多文化サービスを主目的として、日本語を含む8か国語の資料により電子図書サービスを実施した。 学習支援パックは資料の充実により14,390冊の貸出があった。また、調べ学習コンクールへの参加校数も増加しており、児童・生徒の調べ学習の促進に効果がみられた。 	

◇政策実現のために実施する事業一覧

No.	事業名	総合戦略	重点戦略	主要事業	完了	コスト (千円)	事業費 (千円)	人工				報酬 (千円)
								正規	再任用 (31h)	再任用 (26h)	会計年度 (人事課)	
1	図書館運営事業	○	—	○		1,716,110	1,395,152	36.0	2.0		22.0	158
2	国際児童年記念児童文庫基金積立金	—	—	—		700	700					
3	(新規) 図書館デジタル運営経費	—	—	—		826	826					
4												
5												
6												
7												
8												
9												
10												
11												
12												
13												
14												
15												
16												
17												
18												
19												
20												
21												
22												
23												
24												
25												
計						1,717,636	1,396,678	36.0	2.0		22.0	158

※人工単価(千円)正規7,000 再任用(h31)3,600 再任用(h26)2,600 会計年度任用職員(人事課予算)2,800

事業シート (事業名) 01 図書館運営事業

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

図書館サービスの基本となる図書資料の収集と貸出しや各種講座・講演会の実施、児童サービス等を通して、市民の生涯にわたる学習活動の支援を行うとともに、知の拠点としての図書館機能の充実を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S25	-	一般会計	自治事務	図書館法、同施行令、同施行規則、浜松市立図書館条例、同施行規則

(3) 事業の位置付け

主要事業	<input type="radio"/>	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	<input type="radio"/>	(施策)	II-2(1)イ						
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

		④教育							
事業とゴールの関連性	公共図書館は、基本的人権のひとつとして「知る自由」を持つ国民に、資料と施設を提供することを最も重要な任務としている。全ての人が平等に利用でき、あらゆる段階での個人的及び自主的な教育を支援することが図書館の役割である。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	1,114,072	1,173,233	1,395,152			
	決算	1,103,478	1,162,698				
	国・県支出		1,349				
	市債						
	その他	3,985	2,918	2,054			
	一般財源 一般会計繰入金	1,099,493	1,158,431	1,393,098			
人件費(報酬等)(A)		145	131	158			
人件費(人工分)(B)		358,670	330,670	320,800			
人工	正規	42.6	37.8	36.0			
	再任用(h31)	3.1	3.1	2.0			
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)	17.8	19.8	22.0			
年間経費(予算又は決算+A+B)		1,462,293	1,493,499	1,716,110			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
市民1人当たりの貸出冊・点数(冊・点)			目標		5.7	5.7	5.8	5.8	5.9
			実績	5.7	5.1				
利用者カード有効登録率(%)			目標		21	21	22	22	23
			実績	21.2	20.5				
生涯学習施設や図書館などにより、知的好奇心が満たされていると思う人の割合	II-2(1)イ		目標	33	33	33	34	34	35
			実績	33.1	30.5				
利用に関するアンケート調査における満足度「図書館の総合評価としてはいかがですか」(点)			目標		4.3	4.3	4.4	4.4	4.5
			実績	4.2	4.3				
			目標						
			実績						

(管理番号)									
令和3年度	分野	基本政策	政策	予算費目	所属コード	事業	(担当課)	(責任者)	(基準日)
	06	01	09	01	000635000	01	中央図書館	高瀬 理子	R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

- ① 図書館管理運営事業...市直営図書館6館の管理運営及び図書運搬等を行う。
- ② 図書館指定管理運営事業...指定管理者制度により17館1分室を運営する。
- ③ 図書館サービスシステム維持管理事業...図書館サービスシステムの維持管理及びホームページ等による情報発信サービスを行うとともに、図書館システムの次期更新に向け、調査・研究を行う。
- ④ 資料収集事業...一般図書、児童書、新聞雑誌、郷土資料、参考図書、視聴覚資料等の図書館資料を購入する。
- ⑤ 電子図書館事業...「浜松市文化遺産デジタルアーカイブ」によりデジタル化した浜松市史及び史資料等を一般公開するとともに、「はままつ電子図書」により電子図書等を閲覧に供する。
- ⑥ 調べ学習応援事業...学習支援パックの貸出、充実化及び調べ学習コンクールを開催する。
- ⑦ 図書館サービス事業...各種講座、講演会等の開催や、音訳・点訳を通して読書資料を提供する声のライブラリー事業、郷土資料の調査・整理・保存、多言語資料の充実化等の多文化サービス、読み聞かせボランティアの養成、レファレンスサービスを行う。
- ⑧ ブックスタート事業...0歳児とその保護者を対象に絵本の読み聞かせやわらべうたの実演、絵本等の配布を行う。
- ⑨ 施設整備事業...図書館施設の整備及び中長期的視点に立った適切な維持管理・保全業務を行う。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止のための臨時休館もある中で4,099,535冊の資料貸出があった。
- ・図書館ビジョン実現のために、中央図書館のマネジメント強化に向けた窓口業務直営化及び民間活力の更なる活用に向けた城北図書館の指定管理者制度導入を実施した。
- ・多文化サービスを主目的として、日本語を含む8か国語の資料により電子図書サービスを本稼働させた。
- ・学習支援パックは資料の充実により14,390冊の貸出があった。また、調べ学習コンクールへの参加校数も増加しており、児童・生徒の調べ学習の促進に効果がみられた。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・「視覚障害者等の読書環境の整備に関する法律(読書バリアフリー法)」が成立(令和元年6月)
- ・文化審議会著作権分科会法制度小委員会が「図書館関係の権利制限の見直し(デジタル・ネットワーク対応)に関する報告書」を公表(令和3年1月)



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- ・市が運営ノウハウを継続的に維持するため、令和2年度から中央図書館の窓口業務を直営化するとともに、民間活力を活用した地区図書館サービスの更なる充実を目指して城北図書館に指定管理者制度を導入した。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

- 持続可能な図書館運営を目指して機能充実を図るため、中央図書館の大規模改修工事と併せて改良保全を実施する。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

- ① 図書館管理運営事業...市直営図書館6館の管理運営及び図書運搬等を行う。
- ② 図書館指定管理運営事業...指定管理者制度により17館1分室を運営する。
- ③ 図書館サービスシステム維持管理事業...図書館サービスシステムの維持管理及びホームページ等による情報発信サービスを行うとともに、図書館システムの次期更新に向け、調査・研究を行う。
- ④ 資料収集事業...一般図書、児童書、新聞雑誌、郷土資料、参考図書、視聴覚資料等を購入する。
- ⑤ 電子図書館事業...「浜松市文化遺産デジタルアーカイブ」によりデジタル化した浜松市史及び史資料等を一般公開するとともに、「はままつ電子図書」により電子書籍等を閲覧に供する。
- ⑥ 調べ学習応援事業...学習支援パックの貸出、充実化及び調べ学習コンクールを開催する。
- ⑦ 図書館サービス事業...各種講座、講演会等の開催や、音訳・点訳を通して読書資料を提供する声のライブラリー事業、郷土資料の調査・整理・保存、多言語資料の充実化等の多文化サービス、読み聞かせボランティアの養成、レファレンスサービスを行う。
- ⑧ ブックスタート事業...0歳児と保護者を対象に絵本の読み聞かせやわらべうたの実演、絵本の配布等を行う。
- ⑨ 施設整備事業...図書館施設の整備及び中長期的視点に立った適切な維持管理・保全業務を行う。中央図書館については、大規模改修工事を実施する。

事業シート (事業名) 02 国際児童年記念児童文庫基金積立金

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

国際児童年記念児童文庫基金に対する篤志家からの寄付を積み立て、資料の購入等により児童図書等の充実を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
S54	-	一般会計		

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

		④教育							
事業とゴールの関連性	公共図書館は、基本的人権のひとつとして「知る自由」を持つ国民に、資料と施設と提供することを最も重要な任務としている。全ての人が平等に利用でき、あらゆる段階での個人的及び自主的な教育を支援することが図書館の役割である。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算	700	700	700			
	決算	300	300				
	国・県支出						
	市債						
	その他	300	300	700			
	一般財源 一般会計繰入金						
人件費(報酬等)(A)							
人件費(人工分)(B)							
人工	正規						
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		300	300	700			

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						
			目標						
			実績						

(管理番号)

令和3年度 分野 基本政策 政策 予算費目 所属コード 事業 (担当課) (責任者) (基準日)
06 01 09 01 000635000 02 中央図書館 高瀬 理子 R3.7.1

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

国際児童年記念児童文庫基金に対する篤志家からの寄付を積み立て、資料の購入等により児童図書等の充実を図る。



5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)

(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

・篤志家からの寄付の積み立てを行い、児童図書の購入費に充当し、絵本をはじめとした児童資料の充実を図った。

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

・「第3次浜松市子供読書活動推進計画」策定中



6 事業の見直し (Action)

(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・篤志家からの寄付を積み立てし、児童書の充実のため絵本等の児童書の購入に充当した。

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 小項目 / 事業費 人工

・引き続き篤志家からの寄付を積み立てし、児童書の充実のため絵本等の児童書の購入に充当する。



7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)

国際児童年記念児童文庫基金に対する篤志家からの寄付を積み立て、資料の購入等により児童図書等の充実を図る。

事業シート (事業名) 03 (新規)図書館デジタル運営経費

1 基本情報

(1) 事業目的・事業対象

図書館のデジタル環境の整備の充実を図る。

(2) 事業の性質

開始年度	終了予定	会計区分	事務区分	根拠法令等
R03	-	一般会計		

(3) 事業の位置付け

主要事業	-	※「総合戦略」「重点戦略」該当事業及び政策実現のため特に重要な事業を主要事業とする。							
総合戦略	-	(施策)							
重点戦略	-	(戦略項目)							

(4) 関連するSDGsのゴール

		④教育							
事業とゴールの関連性	公共図書館は、基本的人権のひとつとして「知る自由」を持つ国民に、資料と施設と提供することを最も重要な任務としている。全ての人が平等に利用でき、あらゆる段階での個人的及び自主的な教育を支援することが図書館の役割である。								

2 事業コストの状況(千円)

		R1 (2019)	R2 (2020)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)
事業費(千円)	予算			826	0	0	0
	決算	0	0				
	国・県支出						
	市債						
	その他			826			
	一般財源						
	一般会計繰入金						
	人件費(報酬等)(A)						
	人件費(人工分)(B)	0	0	0	0	0	0
人工	正規						
	再任用(h31)						
	再任用(h26)						
	会計年度任用職員(人事課予算)						
年間経費(予算又は決算+A+B)		0	0	826	0	0	0

3 事業の指標の状況 (R4:重点戦略最終年度、R6:総合戦略・基本計画最終年度)

指標名称	総合戦略 施策体系	重点戦略 戦略項目	年度	R1	R2	R3	R4	R5	R6
				(2019)	(2020)	(2021)	(2022)	(2023)	(2024)
			目標	0					0
			実績	0					
			目標	0					0
			実績	0					
			目標	0					0
			実績	0					
			目標	0					0
			実績	0					
			目標	0					0
			実績	0					

4 前年度(R2年度)事業実施内容 (Do)

5 前年度(R2年度)事業評価 (Check)



(1) 事業の成果と課題

指標の達成度

(2) 考慮すべき社会経済状況の変化 (新たな社会課題や機会、法制度の改正、他団体の動向など)

- ・「視覚障害者等の読書環境の整備に関する法律(読書バリアフリー法)」が成立(令和元年6月)
- ・新型コロナウイルス感染症の流行

6 事業の見直し (Action)



(1) 前年度(R2年度)見直し内容(実施結果の振り返り)

大項目 小項目 / 事業費 人工

(2) 当年度(R3年度)以降見直し内容(今後の方向性)

大項目 改善 小項目 ICT化 / 事業費 拡大 人工 現状

- ・新型コロナウイルス感染症の収束時期が不明な中で非来館型の事業が求められているため、動画配信を行う。
- ・読書バリアフリー法の施行を踏まえ、支援を必要とする市民へ情報を的確に提供するため、機器を活用する。

7 当年度(R3年度)事業実施内容 (Plan)



- ・歴史講座や情報活用講座をオンライン配信する。
 - ・窓口やブックスタートにおいて、タブレット型端末を用いた遠隔多言語通訳やUDトークを活用する。
-